

8月 27 日開催:「丹波市図書館基本計画策定委員会」意見 反映

9月実施:小中学生「こども読書アンケート」結果 反映

9月 20 日開催:市民ワークショップご意見 反映

# 丹波市図書館基本計画 (第4次子ども読書活動推進計画)

(素案)

令和8年3月 丹波市教育委員会



## ～目 次～

目次	.....
はじめに	.....
第1章 丹波市図書館基本計画の位置づけ	.....
1. 丹波市図書館基本計画策定の背景	.....
2. 丹波市図書館基本計画の位置づけと計画期間	.....
(1) 上位計画との関係	.....
(2) 計画期間	.....
第2章 現状と課題	.....
1. 丹波市立図書館と子どもの読書活動を取り巻く状況	.....
(1) 丹波市立図書館	.....
(2) 子どもの読書活動	.....
2. 丹波市立図書館と子どもの読書活動の課題	.....
(1) 丹波市立図書館	.....
(2) 子どもの読書活動	.....
第3章 丹波市図書館基本計画の基本理念・運営方針・アクションプラン	.....
1. 基本理念（グランドビジョン）	.....
2. 運営方針	.....
3. 6つの運営方針に基づくアクションプラン	.....
(1) 市民の暮らしや活動に役立つ、地域の情報拠点としての図書館	.....
(2) こども読書活動の推進に取り組む図書館	.....
(3) すべての市民が利用しやすい、便利な図書館	.....
(4) すべての市民が安心して過ごせる、居場所としての図書館	.....
(5) 市民協働で運営するみんなの図書館	.....
(6) まちの変化に対応する図書館	.....
4. 図書館運営の評価方法	.....
5. 構成図・職員配置図	.....
付章 丹波市立図書館の現状	.....
1. 活動状況（令和6年度年報）	.....
2. 丹波市立図書館の課題認識	.....
【資料】	.....
1. 丹波市図書館基本計画策定委員会設置要綱	.....
2. 丹波市図書館基本計画策定委員名簿	.....
3. 計画の検討過程について	.....
5. こども読書アンケート結果	.....
6. 市民ワークショッピングレポート（令和6年度・令和7年度）	.....

## はじめに

### 〔後日加筆修正〕

近年、少子化に伴う人口減少や高齢化、様々な分野におけるデジタル化の進展など、社会がめまぐるしく変化する中、人々の価値観やライフスタイルが多様化し、図書館のあり方やサービスも大きな影響を受けています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、国際情勢の不安定化という予測困難時代の象徴ともいべき事態を生じさせ、教育分野においても大きな変化をもたらしました。

図書館は、豊富な資料を有する生涯学習の拠点ですが、市民が気軽に集える場や居心地よく豊かな時間を過ごせる場としての役割も期待されるなど、人と人とのつながりを大切にし、まちのにぎわいを生み出す拠点としてのあり方も求められているところです。

このたび、「市民に寄り添い、ともに学び、つながる、つくる みんなの図書館」を基本理念として、その運営方針に沿った図書館運営を進めるため、「丹波市図書館基本計画」を策定いたしました。市民の声に耳を傾け、図書館でつながりを持ち、市民が図書館運営にかかわることができるような図書館づくりを進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご意見をお寄せいただいたり、ご協力をいただきました市民の皆さんをはじめ、専門的な立場から活潑なご意見をいただきました丹波市図書館基本計画策定委員会の委員の皆さんに心から御礼申し上げます。

### 1. 丹波市図書館基本計画策定の背景

丹波市は、令和3年3月に策定した「丹波市子ども読書活動推進計画（第3次）」について、令和7年度に計画期間が終了することに伴い、子どもたちを取り巻く社会情勢の変化や時代のニーズに対応した図書館施策の展開を進めるとともに、令和6年度に策定した「丹波市図書館ビジョン」に定める運営方針に基づいた図書館運営を行うため、丹波市図書館基本計画策定委員会の意見を反映させたうえで、図書館運営の指針となる「丹波市図書館基本計画」を策定しました。

本計画は、第3次丹波市総合計画に基づく分野別計画に位置づけられ、今後5年間の図書館運営やサービス等の方向性を具体的に示したものです。

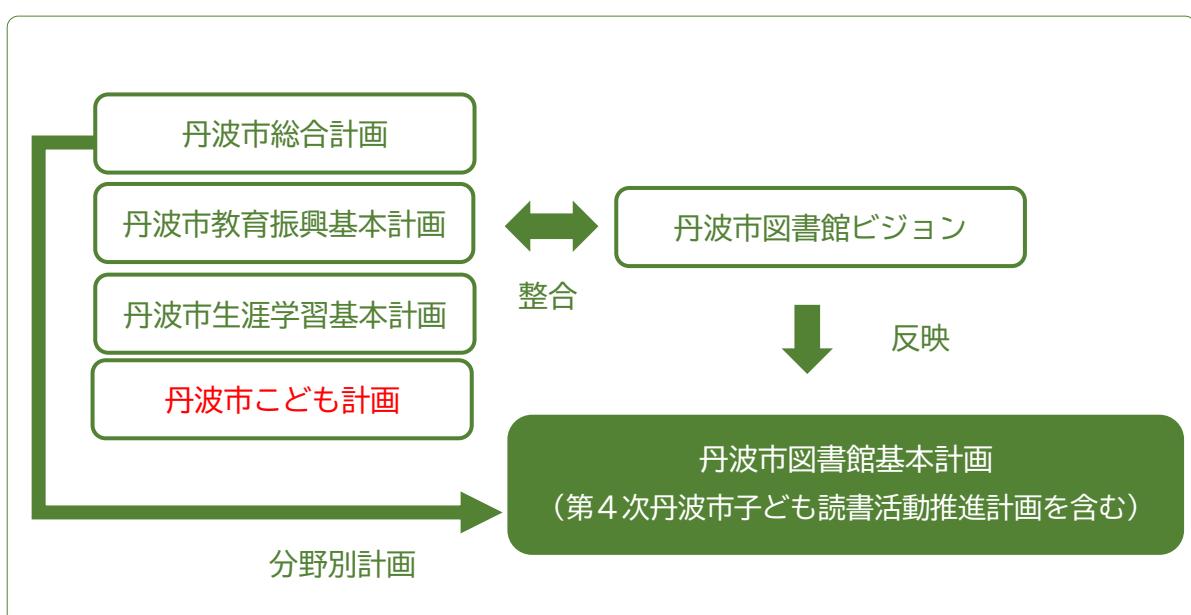
### 2. 丹波市図書館基本計画の位置づけと計画期間

#### （1）丹波市図書館基本計画の位置づけ

丹波市図書館基本計画は、第3次丹波市総合計画や第3次丹波市教育振興基本計画等の上位計画と整合を図りながら、丹波市立図書館の方向性や方針を定めた丹波市図書館ビジョンに基づき、具体的な運営計画として策定しています。

市民の誰もが自主的に読み、知ることができる環境を整え、読書活動、知的探求、課題解決を支援することを規定するとともに、第4次丹波市子ども読書活動推進計画を内包する計画となっています。

図 関係計画との位置づけ



## （2）丹波市図書館基本計画の期間

丹波市図書館基本計画は、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度の5年間の期間とし、計画期間中においても必要に応じ見直しを行うものとします。

具体的な施策を示した実施計画は、毎年度見直すものとします。

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
基本理念										
運営方針										
基本計画										
実施計画										

## 第2章 丹波市立図書館の現状と課題について

### 1. 丹波市立図書館と子どもの読書活動を取り巻く状況

#### （1）丹波市立図書館の状況

丹波市立図書館は、平成16（2004）年の市町村合併以来、地域ごとに分館を設置している点が特徴です。中央図書館を除く5館は住民センター等との複合施設で、子育て学習センターと併設となっている分館も多く、こどもたちのための事業を共同開催できるなどの利点があります。

6つの図書館のうち、閉架書庫を備えているのは中央・青垣・市島の3館のみで、開架・閉架書庫を含め6館すべての書架に余裕がない状態です。いずれの施設も老朽化が進んでおり、施設や設備を修繕しながら運営しています。

#### 【各図書館施設の状況】

施設	建築年	面積（m <sup>2</sup> ）	施設状況
中央図書館	平成8年	1,223.8	単独館
柏原図書館	平成13年	248.7	複合館（柏原住民センター内）
山南図書館	平成8年	245.0	複合館（山南住民センター内）
青垣図書館	平成17年	360.0	複合館（青垣住民センター内）
春日図書館	昭和51年	276.8	複合館（春日住民センター内）
市島図書館	平成7年	479.5	複合館（ライフピアいちじま内）

#### 【蔵書冊数（令和7年3月31日時点）・各館】

施設	蔵書冊数	一般書	児童書	雑誌	視聴覚
中央図書館	141,321	105,600	25,548	8,367	1,806
柏原図書館	40,364	21,564	16,975	1,445	380
山南図書館	44,655	25,148	17,609	1,728	170
青垣図書館	67,473	41,429	22,868	3,080	96
春日図書館	50,728	32,116	17,463	1,045	104
市島図書館	76,667	47,339	27,344	1,975	9
合計	421,208	273,196	127,807	17,640	2,565

丹波市では令和4年度から電子図書館サービスを開始し、令和6年度から学校利用のための専用IDを発行し、市内の小中学生は誰もが「たんばし電子図書館」を利用できる環境が整いました。学校の調べ学習等を想定した何人でも同時に閲覧できるコンテンツ（読み放題コンテンツ）も充実させています。

しかしながら、アンケート調査の結果等から電子図書館サービスの認知度が低いことが課題となっており、わかりやすい広報や操作説明が必要です。

#### 【たんばし電子図書館のコンテンツ数（令和7年3月31日時点）】

コンテンツ数	一般書	児童書	うち、読み放題
2,074	1,141	930	242

1年間に1度でも貸出サービスを利用した有効登録者数と個人貸出しの状況は下記のとおりです。

#### 【有効登録数・個人貸出し冊数推移（全体）】

年度	有効登録者数 (人)	人口 (人)	個人貸出冊数 (冊)
令和 2年度	6,046	62,939	288,622
令和 3年度	6,578	62,152	337,203
令和 4年度	6,426	61,364	327,149
令和 5年度	6,324	60,581	323,162
令和 6年度	6,434	59,699	313,805

#### （2）子どもの読書活動の状況

「丹波市図書館基本計画」には、「第4次丹波市子ども読書活動推進計画」を含みています。第3次計画の目標数値については下記のように推移しています。

##### 【0歳から18歳人口一人あたりの年間貸出冊数】

年度	貸出冊数（冊）	19歳以上の貸出冊数（冊）
令和 元年度	8.0 冊	5.0 冊
令和 3年度	7.8 冊	5.0 冊
令和 6年度	7.8 冊	4.8 冊
【目標値】	10.0 冊	-

##### 【0歳から18歳の登録率（登録者数／当該年齢人口）】

年度	登録率（%）	19歳以上の登録率（%）
令和 元年度	54.2%	51.3%
令和 3年度	50.8%	55.3%
令和 6年度	51.1%	52.9%
【目標値】	60.0%	-

##### 【0歳から18歳の有効登録率（有効登録者数／当該年齢人口）】

年度	有効登録率（%）	19歳以上の有効登録率（%）
令和 元年度	20.9%	10.4%
令和 3年度	17.4%	9.4%
令和 6年度	17.0%	9.4%
【目標値】	25.0%	-

### 【団体貸出の推移】

年度	団体数（延べ）	団体貸出冊数（延べ）
令和 元年度	396	53,693
令和 3年度	351	52,238
令和 6年度	324	51,817

### ※団体の内訳（令和6年度団体貸出実績）

グループ	団体数	団体数
小学校	135	認定こども園等
中学校	8	子育て学習セン
特別支援学校	3	自治協議会等
高等学校	1	介護施設
アフタースクール	14	読み聞かせボランティア

## 1. 丹波市立図書館と子どもの読書活動の課題

### （1）丹波市立図書館の課題

令和6年度に「丹波市図書館ビジョン」を策定するにあたり、丹波市民アンケート（無作為抽出）、図書館利用者アンケート、市民ワークショップ等を通じて市民ニーズの把握に努めました。

多岐にわたる課題がありましたが、下記のように課題整理を行っています。

### 【課題整理】

- ・図書館サービスや図書館イベントの積極的な広報周知
- ・話題の本や最新の本をそろえた蔵書
- ・市民の困りごとや課題を相談しやすいレンタルサービスの充実
- ・子どもたちが本に触れ、親しみを持つためのきっかけづくり
- ・読み聞かせなどを通じ、家族のきずなを深め、ともに学ぶことの支援
- ・子どもたちの読書活動の推進のため、学校図書館との連携、支援
- ・社会教育施設との連携による学びの探求の支援
- ・様々な事情により来館できない方への図書館サービスの充実
- ・市民の多様なライフスタイルに合わせた柔軟な運営
- ・講演会やおはなし会などのイベントを活用した市民の来館促進
- ・本の利用だけではない図書館での居場所づくり
- ・図書館サポーターやボランティアグループの図書館との関わり方
- ・市民の図書館運営への参画と協働
- ・様々なイベントや本を介した取組によるつながりづくりの推進
- ・社会環境の変化や市民の知的要求に柔軟に対応できる運営

## (2) 子どもの読書活動についての課題

子どもの読書活動については「第3次丹波市子ども読書活動推進計画」に基づき取り組んでいるところです。その課題を下記に整理しています。

### ①家庭・地域における子どもの読書活動の課題

子どもたちや保護者が図書館に関心を持てるよう、きっかけとなるイベント等の実施が必要です。また図書館で行っているサービスを、あらゆる世代に届くようわかりやすく発信し、地域文庫や家庭文庫との連携も深めていく必要があります。読み聞かせボランティアのスキルアップの機会を提供するなど図書館と協働しながら、家庭や地域での読み聞かせ活動を推進する必要があります。

### ②子育て支援施設等における読書活動の課題

保護者に読み聞かせの重要性をわかりやすく伝えること、図書館に関心を持つてもらうことが必要です。子育て支援施設で必要とされる絵本等を市立図書館で整備して団体貸冊を行うほか、出張読み聞かせやブックトークなどのサービスを通じて、子ども読書活動の推進について理解していただけるよう、連携を深めていく必要があります。

### ③小・中学校における子どもの読書活動の課題

引き続き保護者や地域が主体的に関り、読書意欲を高めていくことが必要です。また、より多くの子どもが学校図書館に行きたいと思い、目的に合わせた活用ができるよう、環境整備を進める必要があります。市立図書館と各学校間で図書の運搬方法を整備するとともに、調べ学習で役立つ電子図書を充実させる必要があります。

### ④図書館における子どもの読書活動の課題

親子で図書館に関心を持ち来館につながるイベント等の実施、中高生や10代が安心して過ごせる居場所となるような環境整備が必要です。学校との連携では必要とされている図書や電子図書について情報連携を図るほか、学校図書館の運営についても必要に応じて支援を行う必要があります。障がいのある子どもたちや、市立図書館まで来ることが難しい子どもたちに図書や情報を届ける手段を検討する必要があります。

## (3) 「こども読書アンケート」について

令和7年7月～9月に、市内の中学生（小学生4年生～6年生・中学生）を対象としたアンケートを実施しました。その結果を抜粋します。

（問3）「読書が好きですか？」という問い合わせに対して、小学生・中学生ともに

「好き・どちらかというと好き」と答えた人が多い結果となっています。

(問4)「どんな本を読んでいますか?」という問い合わせに対して、小学生・中学生ともに「マンガ」が一番多く、小学生は「物語」「絵本」が続きます。中学生では、「物語」の次に「スポーツや音楽」が続きます。

(問8)「本を読まないのはなぜですか?」という問い合わせに対して、小学生・中学生ともに「読みたいと思う本がないから」と答えた人が多くなっており、読みたいと思える本に出会えていないことがうかがえます。

(問11)で「スマートフォンやタブレットなどで、1週間にどのくらい読書をしますか?」という問い合わせに対して、小学生では7割以上、中学生では6割以上が「利用しない」と回答しています。

「たんばし電子図書館」の利用増加に向け、さらに広報や学校との連携が必要です。

(問12)「学校の図書室を、1週間にどのくらい利用しますか?」という問い合わせに対して、小学生では「1週間に1回以上利用している」と回答した人が「利用しない」と回答した人を上回っています。ところが、中学生では「利用しない」と回答した人が8割を超える結果となっています。

(問13)「学校の図書室にしてほしいことは何ですか?」という問い合わせに対して、小学生・中学生ともに「いろいろな本をそろえる」「くつろげるスペースをつくる」と回答した人が多く、本を読む以外に、図書室が自分の居場所や友達と交流できる場所となることを期待している様子がうかがえます。

(問14)「学校以外の図書館を、1年以内にどのくらい利用しましたか?」という問い合わせに対して、小学生では「半年に1回以上利用した」と回答した人が半数を超えました。ところが、中学生では「ほとんど利用していない」「利用したことない」と回答した人が半数を超えていました。

(問15)「学校以外の図書館にしてほしいことは何ですか?」という問い合わせに対して、小学生・中学生ともに、学校の図書室と同様で、「いろいろな本をそろえる」「くつろげるスペースをつくる」と回答した人が多く、中学生では「電源やWi-Fiを使えるようにする」が2割近くとなっています。

(問9)及び(問10)では家庭での読書環境についてたずねました。

「小さいころ、まわりの大人に本を読んでもらいましたか?」「まわりの大人は本を読んでいますか?」という問い合わせに対して、小学生・中学生ともに、「読んでもらった」、「読んでいる」と回答した人のうち、「読書が好き」と回答した人は、「読書がきらい」と回答した人より多く、一定の相関が見られました。

#### (4) 「市民ワークショップ」について

令和7年9月20日(土)に、元「みんなの森 ぎふメディアコスモス」総合プロデューサー 吉成信夫さんの講演会を開催しました。

参加対象者は「こどもと本に関心のある方」とし、約30名の参加がありました。講演会では、こどもたちのことを最優先に考えられた図書館サービスの実践報告をたくさん紹介していただきました。

続く意見交換会では、6つのグループに分かれ「運営方針(2) こどもの読書環境の推進に取り組む図書館」についてアイデアを出していただきました。

和気あいあいとした雰囲気のなか、日頃からこどもと本に関する活動をされている方同士の交流も見られました。

各グループから共通して出された意見、また多くの参加者から共感を得た意見を下記に抜粋しています。詳しくは資料編をご覧ください。

##### 【こどもたちが本に親しむ機会】

- ・本に関わる体験型企画の実施  
絵本に出てくる料理をつくってみる、自然・星空観察会
- ・図書館に愛称をつける  
固さや敷居の高いイメージがある「図書館」ではなく、親しみやすい印象を持ってもらう

##### 【本を通じた家族の絆を深める家庭教育支援】

- ・市民が主体となって(家族で参加できる)図書館や本に関わる機会を作る  
古本市、一箱本棚(一箱館長)、親子ミニ図書館、親子で絵本づくり
- ・乳幼児・こどもも一緒に行ける図書館の環境づくり  
おむつかえ・授乳室、安全にごろごろできる、大人も楽しむための託児

##### 【こどもたちのための教育環境の充実のために、学校図書館支援推進】

- ・図書館と学校をつなぐ  
図書館の本を学校の図書館で借りることができる、進路相談コーナー
- ・学校図書館をひらく  
学校図書館を地域の人に開放し、交流できる場所に

##### 【その他】

- ・本好きや市民同士がつながる  
本好きがおしゃべりできる場所、ゆるやかにつながり気軽にしゃべれる

## （5）「丹波市図書館基本計画」策定にかかる課題整理

令和6年度に「たんばし図書館ビジョン」で課題整理した内容に、「丹波市図書館基本計画」策定の過程で捉えた課題を加え、下記のように改めて整理を行いました。

### 【図書館の設備（ハード面）に関する課題】

- ・図書館を利用する目的ごとに快適に過ごすためのゾーン分け
- ・本を読む・借りるだけではない、交流できる場所・滞在して利用できる場所としての設備

### 【図書館のサービス（ソフト面）に関する課題】

- ・図書館のサービス（電子図書館サービスをふくむ）やイベントを知ってもらうための広報。
- ・市民の困りごとや課題を相談しやすいレンタルサービスを充実・広報。
- ・こどもたちや親子連れが本や図書館を楽しめる参加型イベント企画
- ・小中学生や10代が気がねなくすごせる自分たちの居場所
- ・様々な事情で来館できない方への図書館サービス充実
- ・市民のライフスタイルに合わせた柔軟な運営
- ・市民がゆるやかに交流できる居場所

### 【連携に関する課題】

- ・市民の図書館運営への参画と協働
- ・公共図書館からの学校図書館を支援
- ・公共図書館と学校図書館のシステム連携
- ・市内高等学校との連携
- ・社会教育施設との連携による学びの探求支援

「丹波市図書館ビジョン」において「基本理念（グランドビジョン）」「運営方針」を下記のように定めました。「丹波市図書館基本計画」では、これらを具体化するためのアクションプランを定めます。

## 1. 基本理念（グランドビジョン）

# 『市民に寄り添い ともに学ぶ、つながる、つくる みんなの図書館』

【グランドビジョンがめざす、それぞれのめざす姿】

### 【乳幼児期（0～6歳児と保護者】

乳幼児が周りの人に本を読んでもらう温かい体験をしながら成長しています。  
保護者も絵本などの読み聞かせをこどもと一緒に楽しんでいる。

- ・[小学生（7～12歳】

たくさんの本にふれながら、自分の好みの本を自由に選んでいます。

- ・[中学生（13～15歳】

読書を楽しみながら、自分で学び、調べる力を身につけています。

- ・[高校生（16～18歳】

自分の将来について必要な情報を得ながら、将来の可能性を広げています。

- ・[19歳～29歳】

進学する人や、初めて仕事を始める人など、大きく生活が変わる年代です。  
日々新しい課題が出てきますが、学びを続け一つ一つ乗り越え進んでいます。

- ・[30歳代～60歳代】

仕事や家事に役立つ情報を得て、個人や地域の課題を図書館で解決しています。

- ・[60歳代以上】

地域と関りながら、生きがいをもって学びを続けています。

- ・[外国にルーツを持つ方（多文化共生】

必要な情報を得ながら、多様な価値観や文化を持った人々が地域社会で共に生活しています。

- ・[さまざまな障がいのある方（読書のバリアフリー】

来館困難な方でも、自分の利用しやすい形式で、本や情報を入手することができています。

## 2. 丹波市立図書館の運営方針とアクションプラン

### (1) 市民の暮らしや活動に役立つ、地域の情報拠点としての図書館

運営方針に基づく取組	運営方針を具体化する計画	めざす姿
・市民の「知りたい」に応える魅力ある蔵書の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題に即した情報（防災・健康・子育て・就労など）提供</li> <li>・年間を通じたテーマ別展示</li> <li>・郷土資料をたんばし電子図書館の独自資料として登録</li> <li>・地域の情報探索力を高める講座の実施</li> <li>・開架書架の収容冊数を見直し、開架スペースで情報発信を増加</li> <li>・庁内関係部署と連携し、さまざまな障がいや特性のある人が利用しやすい資料のニーズを把握、届け方の研究</li> </ul>	・市民の誰もが自分の課題を解決するため、図書館を使いこなしています。
・市民の困りごとや課題を相談しやすい、レンタルサービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタルサービスがどのように役に立つか、わかりやすく市民や利用者に広報</li> <li>・図書館の有用性を伝えてくれる応援団的な市民とつながる</li> <li>・図書館を実際に使っている市民の声を発信する [前回の策定委員会]</li> </ul>	・図書館職員に、気軽にレンタルを依頼する人が増えています。
・図書館の取り組みが伝わる、市民に合わせた情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館インスタグラムの開始</li> <li>・子どもの興味が向くようないい處を紹介する [市民ワークショップ]</li> <li>・図書館イベントの発信</li> </ul>	・図書館が本を借りるだけの施設ではないと知り、気軽に来館する市民が増えています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館年報によるわかりやすい情報公開</li> </ul>	
・		

## (2) 子どもの読書環境の推進に取り組む図書館（子どもの読書活動推進）

運営方針に基づく取組	運営方針を具体化する計画	めざす姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが本に親しむ機会の提供</li> </ul>	<p>[乳幼児とその保護者]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート事業の継続（4ヶ月健診会場で実施）</li> <li>・子育て支援施設等との連携・協力 (出張おはなし会やブックトーク、児童書等の団体貸出)</li> </ul> <p>[小学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な本や情報を得ることができるよう情報提供や学校図書館と連携</li> </ul> <p>[高校生や10代]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この世代の興味関心に沿ったイベントや資料の充実</li> <li>・市内高校の学校図書館の連携</li> <li>・「子ども司書養成講座」や「夏休み一日図書館員」の継続開催</li> <li>図書館に興味をもってもらうため、対象年齢を拡大して実施 [前回の策定委員会]</li> <li>・児童生徒が主体的に企画運営する「子ども発信型」読書活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期から周りの人に絵本を読んでもらい体験の大切さが理解されています。</li> <li>・子育て支援施設等との連携・協力 (出張おはなし会やブックトーク、児童書等の団体貸出)</li> <li>・本に親しみ、自分で情報を調べる力を身につけています。</li> <li>・高校生や10代の来館が増えています。</li> <li>・講座やイベントを通して読書活動のリーダーとなった子どもたちが、読書の楽しさや図書館の使い方をまわりの子どもたちに伝えています。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本を通じた家族の絆を深めるために家庭教育支援の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向けの読書活動推進（読み聞かせ等）の講座開催</li> <li>・大人も本や図書館を楽しんでいる姿をこどもに見せるため、親子で参加できる体験型イベント等を実施 [前回の策定委員会] [市民ワークショップ] [小中学校アンケート]</li> <li>・保護者自身が図書館を楽しむ時間を確保するため託児サービスを実施 [前回の策定委員会] [市民ワークショップ]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で一緒に楽しむための絵本を、気軽に図書館職員と相談しながら選ぶ家族が増えています。</li> <li>・年齢に合った絵本のえらび方や読み聞かせの講座を受講し、家庭で読み聞かせを行う保護者が増えています。</li> <li>・家族やまわりの様子を見て、自然に本に興味を持つこどもたちが増えています。 [前回の策定委員会] [市民ワークショップ] [小中学校アンケート]</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちの教育環境の充実のために、学校図書館支援の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館を活用した調べ学習、読書活動の支援（市立図書館から学校図書館へ団体貸出等）</li> <li>・学校関係者が学校図書館について知る機会提供 [前回の策定委員会]</li> <li>・こどもに本を読む手段（情報）を伝える。 [市民ワークショップ]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の蔵書や市立図書館から団体貸出した蔵書が使いやすく整備され、調べ学習や読書活動で活発に利用されています。</li> <li>たんばし電子図書館の使い方など、自分で情報を得る方法を理解しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の環境整備</li> <li>・学校図書館の蔵書整備と電算化（市立図書館と情報共有）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館が児童生徒の居心地の良い居場所となっています。</li> <li>・学校図書館を利用できる時間が増えています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校司書や学校図書サポーターの配置のあり方を検討</li> <li>・学校図書館と市立図書館の連携強化</li> </ul> <p>[担当課協議により]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館と市立図書館で蔵書や利用の状況が共有され互いに図書館運営を協力しながら進めています。</li> </ul>
--	--	--

### (3) すべての市民が利用しやすい、便利な図書館

運営方針に基づく取組	運営方針を具体化する計画	めざす姿
・「本を届ける」アウトリーチサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチが必要な対象者を整理し届ける方式を検討する（来館困難者へのサービス展開）</li> <li>・自治協議会等と連携した身近な本のあるスポット整備検討</li> <li>・楽しいイメージの移動図書館車運行の検討 [市民ワークショップ]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館に来ることがむづかしい人も、自宅や近くの施設等で、読みたい本や情報を得ることができている。</li> </ul>
・来館せずに利用できる、電子図書館サービスの充実	・電子図書館の整備と利用促進（わかりやすい広報）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な人に電子図書館サービスの情報が届き、電子図書館を利用する人が増えています。</li> </ul>
・市民の多様なライフスタイルに対応できる、柔軟な運営の推進	・開館日や開館時間の変更（延長）等の柔軟な運営を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までライフスタイルに合わせず図書館を利用できなかつた人も図書館を利用しています。</li> </ul>

・		
---	--	--

#### (4) すべての市民が安心して過ごせる、居場所としての図書館

運営方針に基づく取組	運営方針を具体化する計画	めざす姿
・様々なイベントを開催し、市民が立ち寄るきっかけづくり	・本に関連した内容だけでなく、様々なイベントを市民企画も含めて開催	・様々なイベントがきっかけとなり図書館に立ち寄る市民が増えています。
・本の利用だけではない、誰もが気軽に立ち寄ることができる空間や環境づくり	・多様な利用者がそれぞれ快適に過ごせるレイアウトやゾーニングの工夫  ・無料 Wi-Fi や電源など滞在型図書館に必要な設備整備	・多くの人が本を借りる以外の目的でも来館し、利用目的により気兼ねなく過ごしています。  ・学習やビジネス利用など長時間図書館内で過ごす人が増えています。
・市民に寄り添う、心地よい居場所づくり	・丹波市民がもとめる新しい図書館に求められる収容冊数や面積、機能や設備を整理し、将来に向け、多様な利用者がそれぞれ快適に過ごせるような施設を検討する。 [前回の策定委員会意見]  ・固いイメージを想起させる「図書館」の代わりに親しみやすい愛称をつける  ・中央図書館ではおはなしの部屋や視聴覚室が空いている時は利用者に開放する。	・図書館が市民の安心できる居場所になっています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに過ごしたい人も快適に過ごせるスペースを確保する。 [前回の策定委員会意見]</li> </ul>	
・		

## (5) 市民協働で運営するみんなの図書館

運営方針に基づく取組	運営方針を具体化する計画	めざす姿
・図書館の運営を支えるボランティア、サポートなどの人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館センター養成講座を継続開催（お試し参加制度）</li> <li>・ボランティアの活動分野多様化（イベント企画・広報など）</li> <li>・読み聞かせボランティアのスキルアップのための講座を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館センターや読み聞かせボランティアとして活躍し、図書館運営に参画する人が増えています。</li> <li>・スキルアップした成果を活かして、活動の幅が広がっています。</li> </ul>
・市民の声を踏まえた図書館運営の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館長の諮問機関である図書館協議会を開催</li> <li>・図書館利用者アンケートを定期的に実施</li> <li>・図書館が直接市民の声を聞く場を年に一度は開催する [前回の策定委員会]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の声を踏まえ、図書館運営が検討・見直されています。</li> </ul>
・市民がつながれる図書館運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がゆるやかにつながりながら、自主企画等で図書館運営に参画できる仕組みやサポート体制を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がつながりを活かし、意見を出し合いながら、イベント企画や図書館運営に関わっています。</li> </ul>

・		
---	--	--

#### (6) まちの変化に対応する図書館

運営方針に基づく取組	運営方針を具体化する計画	めざす姿
・まちの変化に合わせた、図書館ネットワークの構築	<p>[多文化共生]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国にルーツを持つ市民の増加に考慮し府内関係部署と連携し、現状やニーズの把握を行う。</li> <li>・多言語による資料の充実や「やさしい日本語」による案内表示、イベント企画</li> <li>・まちの変化を予想した資料整備や情報発信（人口減少社会、デジタル化加速、災害・感染症）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な背景をもつ市民が図書館を利用しています。</li> <li>・まちの将来に役立つ情報を備え、状況に合わせて図書館機能を持続しています。</li> </ul>
・情報格差（デジタルデバイド）解消に向けた支援サービスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット検索用端末の設置および操作支援</li> <li>・電子図書館サービスを利用するための操作支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが必要な情報を得ることができます。</li> </ul>
・柔軟で持続可能な図書館運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員の確保・育成</li> <li>・図書館職員が図書館に求められる新たな役割に対応できるよう研修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館職員が、市民や利用者が必要な情報を得るための支援を行うことができます。</li> </ul>

## p 4. 図書館運営の評価方法

丹波市立図書館では、運営状況を評価する指標として下記を用いることとします。

### (1) 来館者数 [丹波市立図書館6館合計の来館者数]

令和7年度7月より市内6館で来館者数の計測を始めました。図書館基本計画期間に、図書館に立ち寄るきっかけになるようなイベントや講座開催により、来館者数が（ ）倍になることを目指します。

指標	基準値	目標値
	令和7年度（推計）	令和12年度
来館者数 (6図書館合計)		

※来館者数は図書館業務統計より算出

### (2) 有効登録者率

[丹波市の人口のうち、1年に1度でも図書館資料を借りた人の割合]

指標	基準値	目標値
	令和6年度	令和12年度
有効登録者数 (6図書館合計)	%	○%

※図書館業務統計より算出（電子図書館を含む）

### (3) 市民協働で実施した事業の数と参加人数

指標	基準値	目標値
	令和6年度	令和12年度
事業の数	2回 (読み聞かせグループと 協働したおはなし会)	○回
参加人数	○人	○人

### (4) 「こども読書アンケート」で読書が好きと回答した児童生徒の割合

指標	基準値	目標値
	令和7年度	令和12年度

小学生	77%	80%
中学生	68%	75%

## 5. 構成図・職員配置図